

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	5-1-1		事業名	さっぽろアートステージ事業			
担当	観光文化局文化部市民文化課 渡邊 211-2261						
全体計画							
事業内容	11月を文化月間と位置づけ、市内各所において、演劇・音楽・美術などの文化芸術イベントを集中的に開催することによって、街中に文化芸術による賑わいを創出する。 【事業の概要】 1「舞台芸術部門」札幌劇場祭：市内8劇場で1か月間公演を行い、企画と舞台を競い合う。北海道中学生演劇発表大会：中学生演劇の全道大会を行う。 2「音楽部門」公共スペースにおいて、地元ミュージシャンによるストリートライブを行う。 3「学生音楽部門」市内小中高校の合唱、器楽、吹奏楽クラブの合同発表会を行う。 4「美術部門」公共スペースをアート作品の展示会場として使用する。 5「特別企画」アートのフリーマーケットや、音楽等のステージパフォーマンスを組み合わせたアートのお祭りを行う。			<年度別の事業内容> 同程度、同規模で実施予定			
	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
事業内容・量・場所・規模・件数等	11月を文化月間と位置づけ、複合的・総合的文化事業を開催した(11月1日～12月9日) 1「舞台芸術部門」 ・札幌劇場祭：市内8劇場で1か月間公演を行い、40作品126公演を実現。 ・中学生演劇発表札幌大会：中学生による演劇の全道大会を行った。 2「音楽部門」地元ミュージシャンによるストリートライブを行った。 3「学生音楽部門」市内小中高校の合唱、器楽、吹奏楽クラブの合同発表会をギターで行った。 4「美術部門」公共スペースを使用し、現代アート作品を展示した。 5「アートプロモーション部門」観光文化情報ステーション等を利用しアートステージの情報発信を行った。 6「市民フォーラムイベント(アートミートマート)」市民が参加するアートのフリーマーケットや音楽等のステージパフォーマンスを実施しながら、文化芸術をテーマに市民フォーラムを行った。			19年度と同規模、同程度を想定。			
	達成目標の状況						
項 目		18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (予 定)	21年度末 (予 定)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)
鑑賞者数		341,898人	371,995人	37万5千人	37万5千人	37万5千人	36万人
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 当事業は民間事業者、劇場、芸術家、学校教育関係者などからなる実行委員会形式で実施しており、事業の企画立案から実施にいたるまで、全て市民主導で行われている。また、公共スペースで事業を実施しているため、誰でも気軽に鑑賞でき、市民が文化芸術に親しむ機会を提供している。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力]事業の趣旨に賛同する民間企業からの協賛金を獲得しており、事業の魅力アップを図っている。 [人材協力]企画立案から実施まで、民間事業者、劇場、芸術家、学校教育関係者の協力を得ながら行っている。 [情報協力]マスコミとの連携により、各メディアを活用したタイムリーな情報提供を市民に行っている。 [その他の協力]</p> <p>市民・企業等が参加しやすい環境づくり 当事業の公式HPや観光文化情報ステーションを活用しながら様々な情報を市民に提供している。</p>							

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード		5-1-1			事業名	さっぽろアートステージ事業
評価(成果)				課題		
<p>市内各地で演劇・音楽・美術などのイベントを開催することによって、文化芸術による賑わいを創出することができた。特に札幌劇場祭は市内8ヶ所の劇場が協力することによって、期間中延べ126公演を実現することができた。</p> <p>また、美術部門は500mにおよぶコンコースをギャラリーに変えてしまう全国的にも珍しい試みとして注目を集めた。市民活動スペースアウ・クルで行った市民フォーラムイベントでは、子どもたちを中心に、1000人を超える集客があり、市民がフリーマーケット等、「アートの縁日」を楽しんだ。</p>				<p>当面は、現状の部門、仕組みにおいて、市民への事業の定着、浸透を図っていく必要がある。</p>		
今後の事業の予定・方向						
<p>当事業については、将来的には札幌で活動しているアーティストのプロモーションの場としてマーケット機能を併せ持った事業とする。とともに、観光資源として、集客交流にも寄与できる事業に成長させることを目標にしているため、実現に向けて仕組みを構築していく必要がある。</p>						
事業費の推移						
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計
計画	事業費	23,400	23,200	23,200	23,200	93,000
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
一般財源	23,400	23,200	23,200	23,200	93,000	
予算	事業費	23,400	23,400	-	-	46,800
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0			0
	市債	0	0			0
	その他	0	0			0
一般財源	23,400	23,400			46,800	
実績	事業費	23,361	-	-	-	23,361
	財源内訳					
	国・道支出金	0				0
	市債	0				0
	その他	0				0
一般財源	23,361				23,361	
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				50.3%
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)						
(全体)						
[19年度]						
[20年度]						